ロシア専門家招へい時の懇談内容について

ロシア計量研究所（VNIIMS）から同国の法定計量分野の専門家を招へいした際、会員企業等を訪問して懇談を行い、講演会の内容の再確認、追加で得られた情報、疑問点の解消などを行った。

懇談等で得られた主な情報は以下のとおりである。

- ロシアでは9割が法定計量対象であり、日本の特定計量器検査規則などの規範はなく、OIMLの勧告に則っている。
- 全ての計量器に対して使用中検査を毎年実施している。検査は 14 ある試験所が実施している。
- OIML R76に基づく試験報告書を取得していれば参考として提出してもらうが、試験は「GOST R 53228 非自動はかり」による。GOST Rの“R”は安全マークである。
- OIML R76に基づきGOST R 53228を整備したが、必要要件のみを規定した約20ページ編集である。
- OIML R76の電磁波障害試験では、10V/mが要求されているので、ロシアでもR76と同様の試験レベルを要求している。ソフトウェア認証も同様に実施している。
- 高温湿潤試験は12時間行う。
- 非自動はかりの 90%以上がソフトウェアを搭載している。OIML D31 では、ソフトウェアを法定計量に係わる部分と非法定計量の部分に分けることが求められているため、どのように分けるかの対応を準備している。
- 型式承認等の試験は 14 か所の試験所で行っているが、試験結果の評価は連邦政府が行っている。
- 型式承認に要する期間は3～6ヶ月である。
- 型式承認の有効期間は5年である。
- はかりの型式承認件数はトータルで約 42,000 件である。ロシア語ではあるが、VNIIMSのホームページに全ての型式が掲載されている。
- ロードセル、指示計のみの承認も行っており、試験成績証明書も発行している。
- 製造事業者が実施したテストレポートも採用しているが、金額面でのメリットはないが、期間短縮が図れる。
- 製造事業者のテストレポートを採用するかは、14ある試験所が判断する。VNIIMSは、製造事業者のテストレポートを採用している。
- テストレポートは、申請時点でのものでよい。
- 取扱説明書、申請様式はロシア語で提出する。
- 自動はかりの規制については、用途により規制対象とするか判断している。